



Tom Dixonの新拠点 イタリア ミラノに「The Manzoni」誕生  
ショールーム併設のレストランが2019年4月にオープン

プレオープン＆新作展示をミラノデザインウィークにて開催

タイトル「The Manzoni by Tom Dixon」

期間 2019年4月9日（火）～14日（日）

#THEMANZONI @THEMANZONI



イギリスのインテリアブランド、Tom Dixon | トム・ディクソンは、2019年4月、イタリア ミラノの中心部にあるManzoni | マンゾーニ 通りに、ショールーム併設のレストランをオープンいたします。

オープンにさきがけ、Milano Design Week | ミラノデザインウィーク期間中に「The Manzoni by Tom Dixon」と題しプレオープンし、新商品とともに、新拠点をご紹介します。

Tom Dixonは、2017年まではミラノデザインウィーク期間中にミラノでの展示発表をおこなってきましたが、今後は、ミラノの地から永続的にTom Dixonブランドを発信してまいります。

## ミラノデザインウィーク期間中の展示のご案内



|           |                                                                                                      |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 展示タイトル    | The Manzoni by Tom Dixon                                                                             |
| 期間        | 2019年4月9日（火）～14日（日）                                                                                  |
| 開催場所      | Via Manzoni 5, 20121 Milano Italy                                                                    |
| 開催時間      | 9日（火） 11:00-18:00<br>10日(水)-13日(土) 10:00-18:00<br>14日（日） 10:00-16:00                                 |
| INSTAGRAM | @THEMANZONI #THEMANZONI<br>@TOMDIXONSTUDIO #TOMDIXON                                                 |
| WEBSITE   | <a href="http://THEMANZONI.COM">THEMANZONI.COM</a><br><a href="http://TOMDIXON.NET">TOMDIXON.NET</a> |

プレスプレビュー 4月9日（火） 9:30-11:00（INVITATION ONLY）

Tom Dixonへの取材/インタビューのお問い合わせは下記までお願いいたします。

TOM DIXON JAPAN PR OFFICE/HOW INC 03-5414-6405 [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp)

## Tom Dixonとミラノ

前回のミラノデザインウィークへの出展ののち、1年間の沈黙を破って「イタリアの商業と文化の中心地であるミラノに、いかにしてTom Dixonというデザイナーおよびブランドを根付かせることができるのであろうか」という課題に対する回答を携え、Tom Dixonが、ミラノデザインウィーク期間中のミラノに戻ってきます。これまでも多くのレストラン等を手掛けた、Tom Dixon主宰のインテリアデザイン会社「Design Research Studio | デザイン・リサーチ・スタジオ」が、「The Manzoni | ザ・マンゾーニ」と名付けた客席数100を誇るレストランを手掛けました。ミラノデザインウィーク期間にあわせ、4月9日（火）～14日（日）にプレオープンし、終了後には、Tom Dixonの常設ショールームが併設されたレストランとして、あらためてオープンいたします。

## Tom Dixonのコメント



「数年に渡り、ミラノで5日間の展示会を開催してきたが、結果として、短期間で終了してしまうイベントにこれほど膨大なエネルギーを注ぐのはもう十分だという結論に至りました。我々はミラノという活動的でエネルギッシュな都市に、違った形で関わりたいと考えるようになったのです。そして今がまさに、活気と魅力あふれるこの地で、永続的に存在し続ける何かをつくる時なのだと考えました。ロンドンにあるTom Dixonは、従来の商品を見るためだけのショールームとしての機能にとどまらず、緩やかな時間の流れの中で、人々が足を止め、リアルな雰囲気では私たちの製品を体験できるライブスタジオのような空間を提供しています。ミラノにオープンする「The Manzoni」でも同様のスタイルを実現しました。能動的な空間の中で私たちの新しいコレクションをご体験ください。」



## The Manzoni by Tom Dixonにて発表する新商品より一部抜粋



## FAT | ファット (写真右)

生地張りのチェアに新しいコレクション FATが加わりました。座る人の体を包み込み、どのようなポジションでも座りやすいようにデザインされています。ダイニングチェア、ハイスツール、ラウンジチェアの3タイプからお選びいただくことができます。高い機能性を備えながらも、隅々までシンプルを極めたその形状は、ユーモラスなシルエットと還元主義的な美しさを保っており、絶妙なバランスで成り立っています。座面と背部は成形ウレタンで、光沢のある黒いラッカー仕上げを施した金属製の脚、そしてオーダーメイドの張り生地を使い、布張り仕上げはヨーロッパの熟練職人たちによる手作業で行われます。

## SPRING | スプリング\* (1P目の写真掲載の照明)

調光可能な内臓LED電球の周りを、たわむステンレス製のリボンをもとめたようなデザインが特徴のペンダントランプ3タイプで構成されるライティングコレクション。まるで泡だて器のようでもある半透明の形状は、スピログラフ（幾何学模様を描く定規）で描いた絵のように、フラットな状態から空飛ぶ円盤のような構造、さらにはカボチャのようなまん丸な形状にも変化します。シェード部分には高性能のばね鋼を使用し、フィニッシュは、白または真ちゅうの美しいメッキ仕上げからお選びいただけます。このエンジニアリング材料には形状記憶機能があり、最後に記憶したシェードの形状に戻るよう設計されています。また、スパイラル（らせん）状のデザインの特性を活かし、使用時にはかさばるシェードも、輸送時には簡単に畳むことができ、フラットパッケージで安全に運ぶことができます。

## OPAL | オパール\* (写真左)

Tom Dixonが独自に開発した乳白色のポリカーボネートを使用した、半透明の球体が特徴のライティングコレクション。半透明であるがゆえに、昼間は実体のないゴーストのような儚さを保ち、夜になると見事なまでに明るく周囲を照らす球体へと変化します。Tom Dixonオリジナルの新しい調光可能なLEDと合わせて使うことで、OPALシリーズの柔らかく拡散する美しい光をお楽しみいただけます。乳白色のプラスチックに独自のブロー成形を施すことで、電球のようなソフトな形状が実現しました。このプロセスにより、有機的なフォルムと繊細な透光を可能にしています。内臓のオリジナルの調光可能なLEDは、長寿命でエネルギー効率がよく、機能性と利便性の高い製品に仕上がっています。ペンダントライト2種、フロアライト2種、ウォールライト1種を取り揃えています。

\*照明については、日本の場合は調光器ごとにマッチングが必要となります。あらかじめご了承ください。

## 「Tom Dixon」ブランドについて

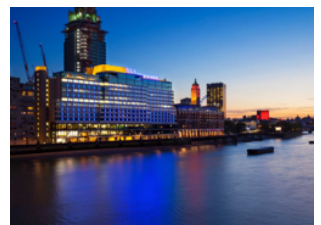
「Tom Dixon | トム・ディクソン」は、照明、ファニチャー、フレグランス、ホームアクセサリーなど、約600点を展開するデザイナー、トム・ディクソンが主宰するイギリスのインテリアブランドです。2002年のブランドスタート以降、独創的なミラーを使った照明シリーズや、一点モノのアート作品にも近い斬新なプロダクトを数々発表。代表作のひとつである「Sチェア」は、MoMA(ニューヨーク近代美術館)の永久コレクションにも選ばれるなど、世界中のデザイン界で高い人気を集めてきました。また、最近では、商業施設の内装や建築デザインなどのプロジェクトも世界中で進めており2014年には、ロンドンを中心にオープンしたモンドリアン・ホテルの総合デザイン監修を行い、建築デザイン業界においても高い評価を得ました。2015年7月には、「Tom Dixon」ブランドの“日本初”となるオンラインショップをオープン。ウィングバックチェアやビートライトシリーズなどの代表作はもとより、照明、チェアやホームアクセサリーなど、洗練されたプロダクトを販売しています。スタイリッシュな店内もトム・ディクソン自身が空間プロデュースに携わっており、同ブランドの世界感を存分にお楽しみいただける空間となっています。

## Tom Dixon | トム・ディクソン プロフィール

1959年チュニジア生まれ。デザイナー。

2002年に「TOM DIXON Ltd.」を設立。照明、ファニチャー、フレグランス、ホームアクセサリーを展開するイギリスのインテリアブランド「Tom Dixon」をスタート。素材そのものの特徴を生かした独創的な創作手法は、一種異端的、且つ工業的なアプローチを体現するものであり、その表現方法は一見英国的な側面を持ちながらも、奇抜でユニークな部分を兼ね備えています。代表作のウィングバックチェア、ビートライトシリーズなど斬新なプロダクトを生み出し、独自の地位を確立してきました。2000年にはその功績が讃えられ大英勲章を受勲。2014年には欧州のライフスタイル見本市で最大の規模を誇る「MAISON & OBJET (メゾン・エ・オブジェ)」のデザイナー・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、また最近では「ELLE DECORATION BRITISH DESIGN AWARD 2019」を受賞するなど、現在ヨーロッパで最も注目されているデザイナーの一人です。

また、空間構築の分野でもトム・ディクソンのデザイン・エッセンスをより高いレベルで表現するために、2002年「Design Research Studio | デザイン・リサーチ・スタジオ」をロンドンに設立。商業施設の内装、大規模装飾物、建築デザイン等のプロジェクトを英国及び世界中で、独創的なデザインを求めるクライアントと共に展開し、その活動領域を拡げています。2014年には、ロンドン中心にオープンしたモンドリアン・ホテルの総合デザイン監修を行い、世界で高い評価を受けています。

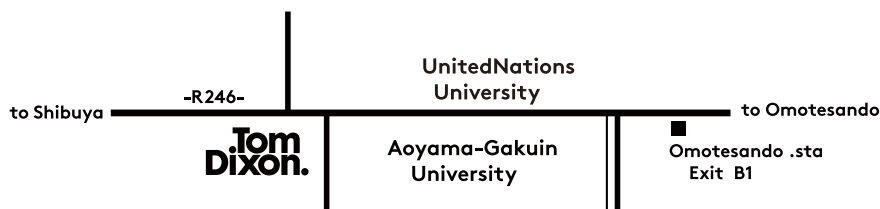


## TOM DIXON SHOP | トム・ディクソン ショップ

Address : 東京都渋谷区渋谷2-1-13 1F

Contact : 03-5778-3282 [info@tomdixon.jp](mailto:info@tomdixon.jp)

Opening Hours : 11:00~19:00 Close : 水曜日 夏季/年末年始



### 商品に関するお問合せ先

TOM DIXON SHOP | トム・ディクソン ショップ Address : 東京都渋谷区渋谷2-1-13 1F

E-MAIL : [info@tomdixon.jp](mailto:info@tomdixon.jp) TEL : 03-5778-3282

### 掲載に関するお問合せ先

TOM DIXON Japan PR OFFICE/HOW INC.

Address : 東京都港区南青山2-22-14 フォンテ青山401

E-MAIL : [tomdixon@how-pr.co.jp](mailto:tomdixon@how-pr.co.jp) TEL : 03-5414-6405 FAX : 03-5414-6406